

# 9 朝霧のムラから南蛮貿易のマチへ 由布院・白杵の紅葉巡り

シーズン  
晩秋

ストーリー ● 大和時代に倉院が置かれた由布院、戦国時代にポルトガルとの交易で栄えた白杵は、近世にもキリスト教を信仰する人々が数多くいました。時空を超えて、紅葉の美しい祈りのスポットへ。

## モデルルート

09:00 ~ 09:10 由布院各地～佛山寺

09:10 ~ 09:30 佛山寺で紅葉鑑賞



09:30 ~ 10:45 佛山寺～湯布院IC～大分米良IC～普現寺

10:45 ~ 11:15 普現寺で紅葉鑑賞館



11:15 ~ 11:45 普現寺～見星禅寺

11:45 ~ 12:00 星月庵

12:00 ~ 13:00 星月庵で昼食

13:00 ~ 13:30 見星禅寺でマリア観音や生野翔雲斎の作品を鑑賞

13:30 ~ 13:40 星月庵～白馬溪

13:40 ~ 14:30 白馬溪で紅葉鑑賞



14:30 ~ 15:30 白馬溪～白杵IC～湯布院IC

本日のお食事



## 精進料理 (3,960円)

「ミシュランガイド熊本・大分2018特別版(ビブグルマン)」に選ばれました。二王座の高台にある星月庵の本格的な禅味料理は、仏教文化、食文化を紹介し、「食文化創造都市・白杵」の一役を担っています。(前日までの予約制)



## 佛山寺

金鱗湖からほど近くにある佛山寺は、杉と竹林に囲まれた臨済宗の古刹(こさつ)です。

約1,000年前、日向国(宮崎県)霧島神社での神のお告げにより、由布岳の山腹にて庵を結び観音像を刻し、祀ったのが始まりと言われています。古くより由布岳の山岳信仰の場として親しまれてきました。山門は昔ながらの茅葺き屋根が懐かしい雰囲気、秋には紅葉スポットとしても知られています。境内の敷地内には、座禅堂があり、予約すれば座禅や写経も体験もできます(土・日曜のみ)。佛山寺の前に続く石垣は、おすすめの散策スポットです。同寺は、辻馬車の停留所にもなっており、由布院の観光名所の一つとなっています。



観光辻馬車

## 見星禅寺と星月庵

創建は寛永十一年、時の城主、一通公が駿府臨済宗より鉄山宗鈍禅師の法孫、一翁東二禅師を拜請され開山となります。以来三百七十年禅師の法灯を護持し十七世今日に至ります。本尊は観世音菩薩で、寺伝によると鎌倉時代の仏師恵心僧都源信で、山岳佛教のころ鎮南山中に要福院という天台宗の寺があり、廃寺となりその秘伝をご本尊となしました。豊後白杵西国第十六番の札所でもあります。境内には一言地藏と呼ばれる隠れキリシタン時代のマリア観音(織部形蹲)があり、戦国大名大友宗麟の時代を偲ぶことができます。

裏庭の一角に茶室があり、故人間国宝生野祥雲斎作網代張天井があり、静かに私たちに一碗のお茶を喫してくれる心の場所ともなっています。星月庵では、閑栖和尚が若い頃に800年の歴史がある禅の味を修行の中で体得し、今に伝えています。



安藤恵薫・閑栖和尚(左)と安藤恵聡ご住職(右)山門にて



庭に佇むマリア観音



茶室

## SDGs との関連性

